

SGH理系 活動報告(1)

SGHアジア探究（理系）として本年度は以下の1講座を開設している。

科学技術とアジアの国々（SGH関連講座）物理科

純粋な知的好奇心に従って科学に関する課題を設定し、自主的に方法を計画し、チームで協力して探究します。科学的処理の手法や、科学技術分野における国際協力の現状を学ぶことを目標としています。

自然科学の歴史を振り返ると、日本と世界の深いつながりが確認されます。かつて西洋から学び吸収した科学技術の方法をさらに発展させ、現在は共同研究や技術支援などの形で世界の国々と協力する立場となりました。国際社会には文系理系を問わずあらゆる知識能力を結集して取り組むべき問題が山積です。

この講座では研究テーマを設定し、実験、考察を行います。自主的な課題設定や計画立案、理系の研究手法を学ぶことを重視しています。

課題 「光～見えないものを見る」

内容 同じものを見ていても個体によって異なる認識となることについて、その理由を探究する。光の性質、錯覚、感覚器官と神経における信号処理など、物理学、生物学の観点から、「光」と「視覚」について広く考察する。物体の回転速度と反応の関係などについて実験し、個体による違いを調査する。素粒子物理学についても学び、「見る」ことの本質を探る。

■ 課外活動予定の一例

京都大学工学部地球工学科国際コース 国際インターンシップ活動報告会

Presentation session on International Internship Activities by 3rd-year students



Undergraduate International Course Program of Civil Engineering,
Faculty of Engineering, KYOTO UNIVERSITY

日時 11月5日（土）14時半～18時半

場所 京都大学 吉田キャンパス 地球工学科校舎

参加者 20名程度（引率教員 1名）

北野高校の課題研究の指導をお願いしている、京都大学地球工学科主催の活動報告会に参加する予定である。昨年度同様、専門的な地球工学、土木工学の研究に関する英語によるプレゼンテーションである。その後、発表者である京都大学3回生の皆さんと留学生の皆さんとの班別ミーティングを行う。